

## JAMの主張

# 家計に優しい共済の出番 ～春闘と相乗効果で生活を守ろう～

【機関紙 J A M ・ 2022 年 10 月 25 日 発行 第 285 号】

こくみん共済 coop「マイカー共済」に、J A M 加盟組合を通じて加入されている方に朗報です！

今年の 11 月以降の契約更新から、J A M の団体割引 22.5% が適用となっています（注・ごく一部の単組は別水準）。もちろん、新たに加入される方にも、この割引が適用されます。

こくみん共済 coop の制度改善により、加入・給付の状況を踏まえた団体割引が、産業別組織の単位で適用されることとなったためです。連合の各組織の中でも、J A M の加入ボリュームはトップレベルにあり、加入者の皆さんの安全運転の結果により、今後のさらなる割引も期待できる状況になっています。

まさに J A M のスケールメリット。39 万人がまとまることによってこそできる、労働組合の共済活動のメリットです。組合員の皆さんが、直接享受できるメリットです。

J A M は結成以来、組織特徴の一つに、充実した共済活動を挙げています。J A M 加盟組合のすべての組合員に、死亡 100 万円、全焼 30 万円を基準とした最低限の組織保障を提供する「ハート共済」は特筆すべき制度です。加えて、火災・自然災害の住まいの保障、生命・医療の保障、老後に備えた資産形成など、多彩な「個人共済」メニューを取り揃えています。いずれも、39 万人が結集する J A M だからこそ提供できる、仲間の助け合いの活動です。

旧来から労働組合活動の三本柱は、①対企業交渉、②政策・制度、③相互扶助（共済）—とされています。組合員の幸せをトータルで実現するためには、偏重することなく、この 3 つの活動をバランスよく取り組むことが労働組合に求められます。

31 年ぶりといわれる物価上昇の嵐が吹き荒れています。家計に優しい J A M 共済の出番です。来年の春季生活闘争に焦点があたる中、J A M 共済の周知・加入促進もしっかり進める。

組合員の生活を守る労働組合の姿が、そこにみえてきます。

副書記長 椎木盛夫